

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、娯楽業で大きく悪化傾向を強めたほか、旅館・その他の宿泊業、洗濯・理容・浴場業、自動車整備・駐車場業で悪化傾向を強めました。一方、情報サービス・調査・広告業が大きく悪化傾向を弱め、全体的には-46と4ポイント下降し、悪化傾向を強めました。売上額は-34と17ポイント、収益は-37と18ポイント下降し、下降傾向を強めました。価格面では、料金価格は-15と8ポイント下降し、下降傾向を強めました。材料価格は8と1ポイント下降しましたが、大きな変化はありません。資金繰りは-29と8ポイント悪化傾向を強め、依然窮屈感は続いています。残業時間は-17と2ポイント下降し、減少傾向を強めました。人手は-13と9ポイント下降し、不足感が強まりました。設備の状況は-23と7ポイント上昇し、不足感を弱めました。設備投資については、機械設備の新・増設を中心に27%の先が実施し、前期より4ポイント減少しました。

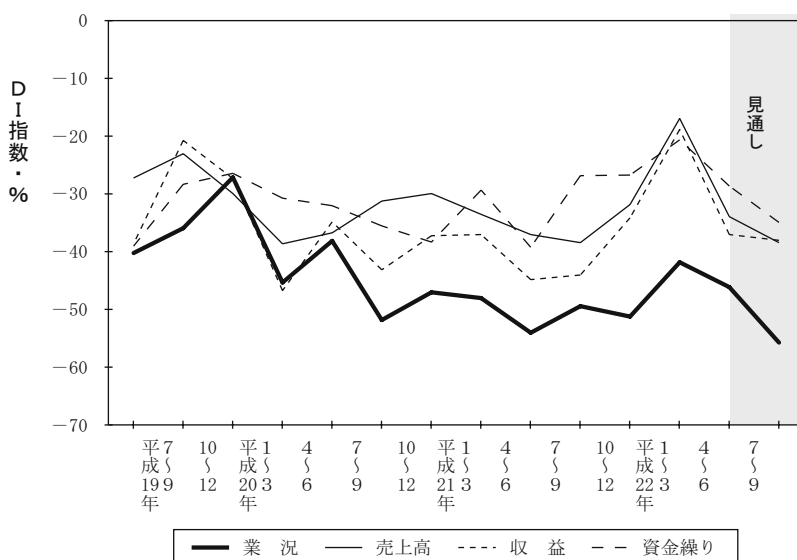
来期の見通し

業況は、娯楽業が今期大きく悪化傾向を強めました。来期は物品賃貸業とともに大きく悪化傾向を弱めるとみています。また洗濯・理容・浴場業もいくぶん改善するとみています。一方、他のサービス業では、悪化傾向を強めるとみています。全体的には-56と10ポイント下降し、悪化傾向を強めそうです。売上額は-39と5ポイント、収益は-38と1ポイント下降し、わずかながら下降傾向を強めるとみています。価格面では、料金価格は-12と3ポイント上昇し、下降傾向を弱め、材料価格は5と3ポイント下降し、上昇傾向を弱めそうです。資金繰りは-35と6ポイント下降し、窮屈感は強まりそうです。残業時間は-19と2ポイント下降し、減少傾向を強め、人手は-16と3ポイント下降し、不足感が強まりそうです。設備の状況は-27と4ポイント下降し、不足感は強まるとみています。設備投資については、機械設備の更改を中心に24%の先が実施予定とし、今期より3ポイント減少するとみています。

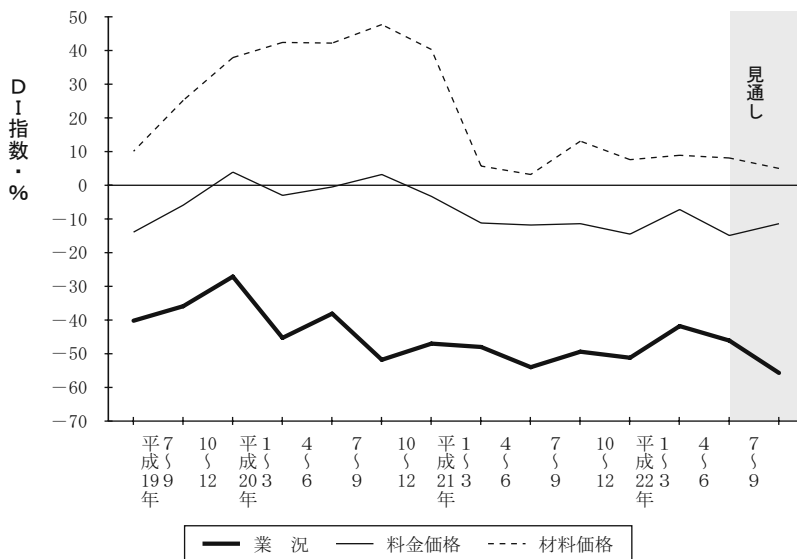
調査員のコメント

- 遠野物語100周年のイベントにより、宿泊客増加に期待する。
(旅館業)
- 市内に支店を展開するも競合激しく、売上は伸び悩んでいるが、固定客を中心にほぼ横這いで推移している。
(美容業)

景況の推移

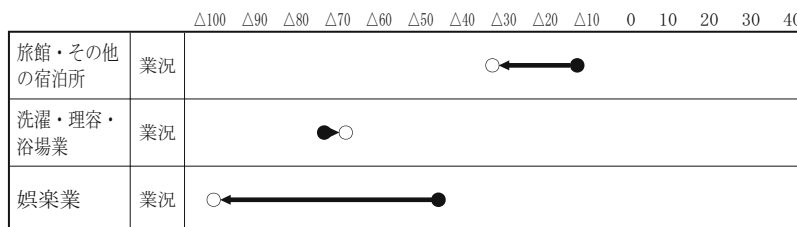


主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移

今期 22年 4月～6月) / 前期 22年 1月～3月)



経営上の課題点	1位	売上停滞・減少(1)	71%
	2位	同業者間の競争の激化(2)	39%
	3位	利幅の縮小(3)	27%

当面の重点経営施策	1位	経費を節減する(1)	61%
	2位	販路を広げる(2)	47%
	3位	教育訓練を強化する(3)	34%

*()は前回順位